

カナルタ

螺旋状の夢

本田光海 初監督作品 A FILM BY AKIMI OTA

with Sebastian Tsapuran, & Pastora Tanchima. Directed by Akimi Ota. Cinematography by Akimi Ota.
Sound Recording by Akimi Ota, Edited by Akimi Ota, Sound Design & Sound Mix by Martin Salomonsen,
Colour Grading by Aline Biz, Produced at Granada Centre for Visual Anthropology.

2020 | UK & Japan | 121 | Copypac | DCP | Stereo, Distributed by Toqué Studio ©Akimi Ota



セバスティアンとパストーラは、エクアドル南部アマゾン熱帯雨林に住むシュアール族。かつて首狩り族として恐れられたシュアール族は、スペインによる植民地化後も武力征服されることがない民族として知られる。口づみ酒を飲み交わしながら日々森に分け入り、生活の糧を得る一方で、彼らはアヤワスカをはじめとする覚醒植物がもたらす「ヴィジョン」や、自ら発見した薬草によって、柔軟に世界を把握していく。変化し続ける森との関係の中で、自己の存在を新たに紡ぎだしながら。しかし、ある日彼らに試練が訪れる....。

植物のおかげで人は生きてきた。忘れてはいけない。ヒトのはじまりから、いつもそうだった。森を歩き、森で歌い、森の水を飲むかれらの生活にまぎれこむとき、強烈によみがえってくるのはそのことだ。

薬草マイキュアが見せてくれるのは、きみ自身の真実。ナンキが撮ったこの映画が、われわれにとっての薬草だー管啓次郎（詩人・明治大学教授）

彼らは時空を超えた世界と繋がっている。

アマゾンから生まれた夢は、都市に暮らす僕を新たな世界へと導いた。

この映画は未来に向けて、新たな視座をもたらしてくれる。

太田光海という素晴らしい才能に出会えた事が嬉しい。ー長谷井宏紀（映画監督）

惑星最大の資源の守り人としてのシュアール族を、画期的な手法で描いているーIndy Film Library

極めて親密かつ意欲的な、本物のストーリーを持つドキュメンタリー。多くのディテールやひねり、映像の快樂と息を飲む展開に満ちているーoutro.magazine

監督プロフィール

太田光海 OTA AKIMI



©Jun Yokoyama

1989 年東京都生まれ。神戸大学国際文化学部、フランス・パリ社会科学高等研究院（EHESS）人類学修士課程を経て、英国・マンチェスター大学グラナダ映像人類学センターにて博士号を取得した。パリ時代はモロッコやパリ郊外で人類学的調査を行いながら、共同通信パリ支局でカメラマン兼記者として活動した。この時期、映画の聖地シネマテーク・フランセーズに通いつめ、シャワーのように映像を浴びる。マンチェスター大学では文化人類学とドキュメンタリー映画を掛け合わせた先端手法を学び、アマゾン熱帯雨林での1年間の調査と滞在撮影を経て、初の監督作品となる『カナルタ 螺旋状の夢』（2020年）を発表した。

Instagram: <https://www.instagram.com/akimiota/>

Twitter: <https://twitter.com/akimiota>

Note: <https://note.com/akimiota>

監督より

この作品は、マンチェスター大学で行った映像人類学研究から生まれました。最初に着想を得たきっかけは、東日本大震災と福島第一原発事故です。都会育ちだった私は、当時パリに留学中で日本にいなかったにも関わらず、自分の存在条件が根底から覆されるのではないかという恐怖に慄きました。同時に、今まで自分がいかに自らの住む土地との繋がりを失い、乖離した生活を送っていたのかに気付かされ、愕然としました。文化人類学という人間社会の成り立ちを深く問い直す学問に励んでいたにも関わらず、「当たり前」の感覚に流されていた自分に気付かされたのです。震災から約3年をかけて、文化人類学から得た知見を活かしながら、映画として作品を撮るプロジェクトを練りました。現代の世界が共通に抱えている病のような何かを見つめつつ、土地と共に生き、死に、再生を繰り返す精神性を取り戻したい、という想いを抱きながら。こうして生まれた構想が、エクアドルのアマゾン熱帯雨林で今も自給自足生活を送る先住民たちに関する実験的ドキュメンタリーでした。南北アメリカ大陸は欧州によって最初に植民地化された土地であり、それ以来土地の恵みと共に生きてきた先住民たちは虐げられ、今もほとんどその声が外の世界に伝わることはありません。土地の恵みを失うことの痛みや、その恵みを信じ切ることの尊さを、地球の反対側に住む人間たちと分かち合うことができたなら、それは世界が共通して抱える病理を癒すある種の証明になるのではないかと。そんな直観を頼りに、文化人類学研究と作品撮影を目的に、2016年8月からアマゾンの森に住み始めました。南米大陸を訪れること自体が初めてで、ネットワークも皆無に等しかった私ですが、友人のツテを根気よく頼りながら、アマゾン奥地のある村にたどり着きました。それが、この作品の「主演」であるセバスティアンとパストーラが住む村でした。彼らと私の間には、民族や言語の壁を超えた共感が徐々に芽生えていきました。薪の探し方や火の焚き方、道なき道を行く原生林での歩き方、凶暴な動物や虫からの身の守り方。食用や薬用の植物の見分け方。さらにその先へ続く、叡智としか呼べないようなもの。森で生きる術の全てを少しずつ彼らに教わり、タスクを課され、実践する中で私自身が森の民に生まれ変わっていきました。「学ぶ」が「真似ぶ」でしかありえない森の生活の中で、決して簡潔な説明などしてくれない彼らを観察し、対話を重ね、笑いあい、口噛み酒に酔いながら、少しずつノートを書き溜めていきました。実際にカメラを回した時間は、私が彼らと過ごした時間を考えればほんの僅かです。その分だけ撮り溜めた映像は研ぎ澄まされ、深みを増していったと言えます。13ヶ月後の2017年9月に拠点のイギリスに戻り、ラフカットを何度か編み上げたあと、2019年10月から11月にかけて再び村を訪れ、追加撮影と録音を行いました。編集期間中は、マンチェスター大学グラナダ映像人類学センターで何度も試写上映会を行い、数十カ国から集まる多様な学生たちと意見交換を重ね、教授陣からの指導も受けながら推敲していきました。私自身、人生の約3分の1を海外で過ごしていますが、この作品が生まれ出た環境を考えても、この作品には様々な文化や土地の感性が詰まっているはずです。どうか、この作品が多くの人へ届きますように。

作品情報

監督・撮影・編集・録音

サウンドデザイン

カラーグレーディング

グラフィックデザイン

制作

上映時間

撮影場所

制作年

資金協力

配給

予告編 URL

作品公式サイト

作品 Facebook ページ

太田光海

マーティン・サロモンセン (MARTIN SALOMONSEN)

アリーヌ・ビズ (ALINE BIZ)

八木幣二郎

太田光海 (マンチェスター大学グラナダ映像人類学センター)

121分

アマゾン熱帯雨林 (エクアドル)

2020年

ウェナー・グレン財団、マンチェスター大学、日本学生支援機構、本庄国際奨学財団

トケスタジオ

<https://vimeo.com/468427730>

<https://akimiot.net/Kanarta-1>

<https://www.facebook.com/KanartaFilm>



劇場公開予定

2021年10月2日(土)～

2021年10月29日(金)～

2021年11月～

2021年11月～

2021年11月～

イメージフォーラム (東京)

伏見ミリオン座 (愛知)

シネ・ヌーヴォ (大阪)

元町映画館 (兵庫)

出町座 (京都)

他、全国約30館と交渉中

外部レビュー

REALTOKYO CINEMA

<https://realtokyocinema.hatenadiary.com/entry/2020/12/01/083821>

Outro Magazine (英語)

<https://www.instagram.com/p/CG3RbzunNrN/>

Indy Film Library (英語)

<https://indyfilmlibrary.com/2021/03/04/kanarta-alive-in-dreams-2020-4-stars/>



主な受賞歴

最優秀ドキュメンタリー賞

最優秀長編ドキュメンタリー作品賞

最優秀長編ドキュメンタリー作品賞

最優秀長編ドキュメンタリー作品賞

最優秀長編ドキュメンタリー作品賞

観客賞

最優秀学生・初監督作品賞

最優秀ドキュメンタリー作品賞

最優秀長編監督賞

Calcutta International Cult Film Festival

Florence Film Awards

New York Movie Awards

Beyond Earth Film Festival

Rameshwaram International Film Festival

Essex DocFest

Asian Cinematography Awards

New Cinema Lisbon Monthly Film Festival

New Cinema Lisbon Monthly Film Festival

試写上映歴

2019年10月	Partisan Collective（イギリス）
2019年11月	ラテンアメリカ社会科学研究院（エクアドル）
2019年12月	東京藝術大学
2020年11月	神戸元町映画館
2021年4月	黒山スタジオ（千葉県茂原市）

その他の主な映画祭参加歴

2020年12月	東京ドキュメンタリー映画祭（満席）
2021年3月	東京ドキュメンタリー映画祭 in Osaka（2公演満席）
2021年4月	Visions du Réel Film Market（スイス）

問い合わせ先

配給	トケスタジオ（太田） 〒267-0066 千葉県千葉市緑区あすみが丘 7-15-4 070-2651-6953 mail@akimiota.com
----	---

宣伝	スリーピン（原田） 090-7903-8534 haradaru@gmail.com
----	---